

レディースNOW

商工女性は今

茨城県商工会女性部連合会

水戸市桜川2丁目2番35号

電話 (029) 224-2635

FAX (029) 226-0955

第 26 号

発行者 桜井 姚



マインパズルでも「マインコロッケ」は盛況

「マインパズル」がオープン

近年はモータリゼーションの進展やライフスタイルの変化、居住人口の減少、後継者不足などが伴い、経済不況や後継者不足から空き店舗が増えている。

時代には仙台藩の領地となり、龍ヶ崎城のあった台地のふもとに置かれた陣屋を中心に商業が栄えた。しかし、

龍ヶ崎市商工会女性部（吉田京子部長）では、空洞化する中心商店街に歯止めをかけようと、『まいんコロッケ』を開発し、女性部が中心となった「街おこし」に取り組んでいる。また、今年の一月には飲食店組合が中心となった「コロッケクラブ龍ヶ崎」を設立し、商店街全体が「龍ヶ崎をコロッケの街に」という願いで踏み出している。

龍ヶ崎をコロッケの街に ストロな風味が好評

龍ヶ崎市
商工会女性部

コロッケで街おこし

龍ヶ崎市商工会女性部 部長 吉田 京子

私の住んでいる龍ヶ崎市は、首都圏内50キロという地理的条件から龍ヶ崎ニュータウンの開発が進み、現在約7万8千人の人々が生活し、水とみどりに恵まれた住みやすい街です。最近、人口の増加などが進み、あらたな大型店の進出により、ごたぶんにもれず、中心商店街の空洞化が進んでいるのも事実です。以前に繁栄していた商店街がさびれていくことが大変残念であり、「街が泣いている」何とかしなければ、女性の力で何か出来る事はないか、手さぐりで考え始めたのです。

関東ブロック商工会女性部



そのような状況の中、又追い討ちを掛けるかのように、商店街通りにあった銀行の移転が決まり、その建物が空き店舗になってしまいました。行政も、街中の活性化を推進する為に、この建物を市が買い取り、茨城県初めての公立まんが図書館「まいん」が平成12年6月にオープンしました。子供たちを中心に大勢の人がこの施設を訪れるようになりました。

まんが図書館に来る子供たちにコロッケを食べさせてあげよう。さっそく商工会女性部の有志に声をかけてコロッケ作りをすぐに実行したのです。

コロッケ作りは公民館を借り、まいんの裏の駐車場の片隅にテントを張り、保健所へ出向き食品販売の許可をもらい、揚げたてのコロッケを1ヶ50円で売り始めました。しかし、当初、「コロッケなんかで街おこしができるか！すぐにやめなさい！」とか「まわりの人たちに迷惑をかけるから」など、それでもめげずに主婦の知恵を持ち寄り試行錯誤を繰り返しながら、とにかく街に元気を取り戻したい一心と半分意地で頑張ってきました。

そこは、やる気と元気の女性部です。ロコミ作戦に出ました。成功でした。毎回売れ残りはありません。味も主婦の力を十分に発揮し、回を重ねるたびにおいしくなり、行列が出来るようになりました。

市の積極的な応援もあって、マスコミにも取り上げられるようになり、又市の方や新聞社の方を招いてのコロッケパーティーも大成功、たいへん有意義なものでした。

場所も手狭になってきたので、市に相談したところ、商店街大通りに面した広場で毎月第1日曜日イベントをやろうということになり、コロッケを広告塔にフリーマーケットやニュータウンの方々によるコーラスグループなどにも参加してもらい龍ヶ崎全体を考えた龍ヶ崎のイベントが平成13年7月に第一回「まいんパズル」が開催されました。

健康に良いとされる黒豆を煎って、ミルでひいたものを味付したジャガイモの中に混ぜる黒豆コロッケ、同じようにピーナツを混ぜたピーナツコロッケ、おいもコロッケなど評判もどんどん広がり、当初400個でスタートしたものが、今では4500個が3時間で売り切れてしまいます。

数が多くなるにつれて仕込みの方も大変になりましたが、街のお肉屋さんの協力もあり、いも洗い器、いもつぶし器、成形器など、使わなくなった機械を寄付していただきました。

又、コロッケの材料は地元でとれたじゃがいも、黒豆を農家の協力で作り「地産地消」を目指しています。今年はまいんコロッケ専用の畑もあり、そこでじゃがいもがすくすく育っています。もうすぐイモ掘りです。まいんコロッケの評判を聞いて、NHKなどのテレビの取材を受けるようになり、番組が放映されると、かなり宣伝効果が上がり、ますます女性部が忙しくなりました。

そんな中、何よりもうれしい事は飲食店組合やお肉屋さんを中心となり「コロッケクラブ龍ヶ崎」が設立され、龍ヶ崎をコロッケの街にという願いが一步步出されたことです。これも元気とやる気で市と商工会が一体となり、頑張った結果だと思っています。定例のまいんパズルの他、昨年は横須賀市や太田市などのイベントに招待され龍ヶ崎まいんコロッケの名前がますます県外にも知られ、本当に誇らしく思いました。

コロッケの収益金は何に使っていると思いますか？私達がコロッケを作る原点になった、まんが図書館にまんがの本を買いました。又、コロッケ作りに必要な道具を買いたしています。これはすべて女性部のボランティアから成り立っています。私たち一人一人の愛する龍ヶ崎への熱い思いがまいんコロッケをこんなに成長させてきました。さらに元気とやる気プラス楽しさを合言葉にますます頑張っていきたいと思っています。

とかく、インスタントや冷凍食品の味に慣れてしまっている現在の子供たちに地元の野菜をいかした手作りの味をコロッケを通じて伝えたい、そして新たな龍ヶ崎市の風土の文化として創造していこうと考えています。

龍ヶ崎は、龍ヶ崎城のあった台地のふもとに置かれた陣屋を中心に商業が栄えた。しかし、

近年はモータリゼーションの進展やライフスタイルの変化、居住人口の減少、後継者不足などが伴い、経済不況や後継者不足から空き店舗が増えている。

時代には仙台藩の領地となり、龍ヶ崎城のあった台地のふもとに置かれた陣屋を中心に商業が栄えた。しかし、

龍ヶ崎をコロッケの街に

龍ヶ崎をコロッケの街に

龍ヶ崎をコロッケの街に

龍ヶ崎をコロッケの街に

龍ヶ崎をコロッケの街に

龍ヶ崎をコロッケの街に

龍ヶ崎をコロッケの街に

龍ヶ崎をコロッケの街に

龍ヶ崎をコロッケの街に

龍ヶ崎をコロッケの街に

龍ヶ崎をコロッケの街に

龍ヶ崎をコロッケの街に

龍ヶ崎をコロッケの街に

龍ヶ崎をコロッケの街に

龍ヶ崎をコロッケの街に

龍ヶ崎をコロッケの街に

龍ヶ崎をコロッケの街に

「コロッケクラブ龍ヶ崎」の立ち上げにつながった。現在二十五店が加盟。昔ながらのコロッケはもちろん、カニクリームコロッケや豆腐コロッケ、ツナレインコロッケ、黒豆コロッケ、中華風コロッケ、チリコロッケ、おからコロッケなど多彩なコロッケが毎日、または五・六の日が付く「コロッケの日」に販売されるなど、活性化のための大切な幹に成長した。

吉田部長は、「みんな楽しんでやっていきます。コロッケという食べ物で街おこしをしていきたい」と話していた。

吉田部長は、

「みんな楽しんでやっていきます。コロッケという食べ物で街おこしをしていきたい」と話していた。

吉田部長は、

「みんな楽しんでやっていきます。コロッケという食べ物で街おこしをしていきたい」と話していた。

吉田部長は、

吉田さん（龍ヶ崎市）が優秀賞

関東大会でいきいきと発表



見ごと優秀賞に輝いた吉田さん

龍ヶ崎をコロッケの街に

龍ヶ崎をコロッケの街に

龍ヶ崎をコロッケの街に

龍ヶ崎をコロッケの街に

龍ヶ崎をコロッケの街に

龍ヶ崎をコロッケの街に

龍ヶ崎をコロッケの街に

龍ヶ崎をコロッケの街に

龍ヶ崎をコロッケの街に

龍ヶ崎をコロッケの街に

龍ヶ崎をコロッケの街に

龍ヶ崎をコロッケの街に

龍ヶ崎をコロッケの街に

龍ヶ崎をコロッケの街に

応援にかけつけた女性部員

関東ブロック商工会女性部交流研修会
主張発表大会



あいさつする桜井会長



任期満了に伴う役員改選では、会長に桜井姚氏（つくば市）、副会長に生熊和子氏（里美村）、嶋琴氏（茨城町）、絹張多恵子氏（鹿嶋市大野）、吉田京子氏（龍ヶ崎市）、三浦頼子氏（五霞町）が選任され、二十人（下記新役員名簿参照）の

総会は県内の八十商工会女性部長が出席。来賓として、矢口一美・県商工労働部次長、石川亨・県商工会連合会専務理事ほか、関係者が出席した。開会にあたり桜井会長は、「企業経営が厳しい時にこそ、商工会女性部は地域女性団体のリーダーとして事業活動を積極的に展開し、県女性連創立二十五周年を組織の充実と連携強化に努め有意義な年としたい」とあいさつ。来賓祝辞として、矢口一美・県商工労働部次長、石川亨・県商工会連合会専務理事が、「県内女性団体の

県商工会女性部連合会（桜井姚会長）は、五月二十七日、水戸市内で平成十五年通常総会を開催し、事業計画など四議案を審議し、原案どおり可決承認された。また、任期満了に伴う役員改選では、桜井姚氏（つくば市）が再任された。

県女性連総会

桜井姚会長を再任

創立25周年記念事業など可決

新役員プロフィール

どうぞよろしくお願いいたします

副会長 吉田 京子 (龍ヶ崎市)	副会長 絹張多恵子 (鹿嶋市大野)	副会長 嶋 琴 (茨城町)	副会長 生熊 和子 (里美村)	会長 桜井 姚 (つくば市)
常任委員 柴田とき子 (大洗町)	常任委員 飯村 京子 (笠間市)	常任委員 小森 昌子 (山方町)	常任委員 根下 佳子 (大宮町)	副会長 三浦 頼子 (五霞町)
常任委員 齊藤 幸枝 (阿見町)	常任委員 中山八重子 (新治村)	常任委員 平松 菊枝 (千代田町)	常任委員 阿部 君子 (玉造町)	常任委員 幸保 節子 (波崎町)
監査委員 西村 秀子 (関城町)	監査委員 南川智恵子 (岩瀬町)	常任委員 青木 允子 (水海道市)	常任委員 高野 節子 (下妻市)	常任委員 長岡てい子 (牛久市)

新役員により新たなスタートをきった。

また、平成十四年度に実施した部員増強運動の表彰式が行われ、左記の女性部が受賞した。

大規模商工会の部
最優秀賞 友部町

中規模商工会の部
最優秀賞 潮来市潮来
優秀賞 小川町

小規模商工会の部
最優秀賞 山方町
優秀賞 霞ヶ浦町

6人がいきいきと発表

女性部主張発表大会

県商工会連合会と県商工会女性部連合会主催の「第二回茨城県商工会女性部主張発表大会」が六月十一日、つくば市のつくば国際会議場で開催した。大会は県内八十商工会の女性部員六百人が参加。始めに沼尻県連会長は「女性の豊かな感性と行動力を発揮し、地域発展に貢献して下さい」と激励。続いて、桜井会長は「女性の柔軟な発想と、未来に希望が持てる主張発表を期待いたします」とあいさつ。

県内各地から六人の代表が「女性部活動に参加して」等のテーマから、日頃の女性部活動から得た教訓などを披露した。

審査には、山下宗公・茨城放送代表取締役社長らがあたり、主張発表の内容や構成・表現力等を基準に審査を行った。

審査の結果、最優秀賞に輝いたのは「女性部活動と地域振興・まちづくり」をテーマに発表した龍ヶ崎市の吉田京子さん、優秀賞にはつくば市の若柳綾子さん、優良賞には美野里町の川名咲子さん。

受賞者の川名さん・若柳さん・吉田さん（左から）

県女性連創立25周年記念式典

日時 平成15年12月8日(月)午後1時開式

場所 つくば市「つくば国際会議場」

第Ⅰ部 記念式典

第Ⅱ部 部員研修会

「神津家の後継者づくり」

神津善行・中村メイコ・神津十月・神津はづき・六華仙

審査には、山下宗公・茨城放送代表取締役社長らがあたり、主張発表の内容や構成・表現力等を基準に審査を行った。

審査の結果、最優秀賞に輝いたのは「女性部活動と地域振興・まちづくり」をテーマに発表した龍ヶ崎市の吉田京子さん、優秀賞にはつくば市の若柳綾子さん、優良賞には美野里町の川名咲子さん。

発表を終えて勢揃いの6人（右から3人目は桜井会長）



国道245号と6号を結ぶ県道(原研通り)沿いに、今回お訪ねした「アトム商会」さんのお店があります。お店に一歩足を踏み入ると、フィルム、現像機やフォトギャラリー、スタジオ、カメラ及びその関連商品が整然と配置されており、一目で店内が見渡せるようになっています。

アトム商会さんが東海村に店を構えたのは、昭和三十三年。日本原子力研究所ができ、村全体が活気と希望に満ちていた頃です。

また、店内にお客様が撮った写真を飾れるコーナー「ギャラリーアトム」を併設したり、2Fにあったフォトスタジオを1Fにして、すぐ隣で着付けができるようにしたことなど、常に新しいことへチャレンジする姿勢がうかがえました。

先代社長の意志を受け継ぎ、女性ならではの柔軟な発想で店を切り盛りする現社長のモットーは、「お客様あつてのアトム商会であること」を忘れず、一生懸命精進すること。小柄で華奢な外見からは想像できないほど、内面にパワーを秘めた社長さんの熱い思いが随所にちりばめられた「アトム商会」さんのお店でした。

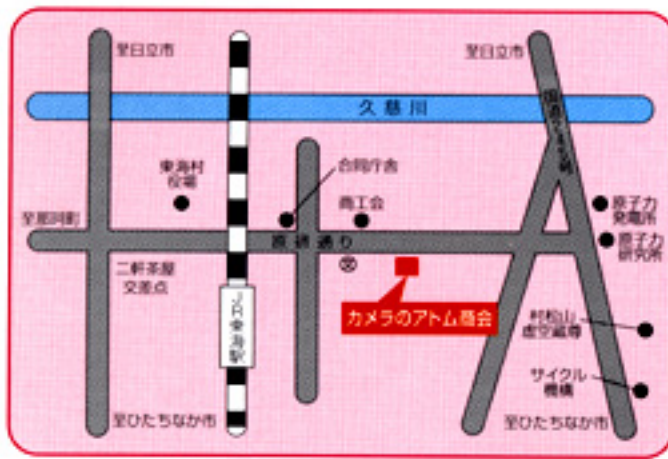
(橋本 美智子 記)

常に新しいことへチャレンジ



DPE・撮影・画像処理
(有)カメラのアトム商会

〒319-1112 東海村村松1160-5
TEL029-282-7878



「No.1」を目指す 山野井絵里さん!



リラクゼーションサロン
ノイ

〒302-0128 守谷市けやき台1-32-1コーポ岩田101号室
TEL0297-46-2826

あんな店 こんな店



守谷市けやき台の住宅街の一角にあるお店「リラクゼーションサロン「ノイ」」さんです。

九十六年のアトラントオリンピックの水泳選手として出場し、スポーツマッサージの経験と自然治癒力を高め、ゆく「足ツボマッサージ」をするお店です。

「百聞は一見に如かず」とマッサージを受けに出掛けました。白いドアを開けると、お母様と絵理さんの笑顔の出迎えを受け、店内には静かに音楽が流れとても和みました。

お店には、選手時代の写真が飾られており、十歳の頃に、TV番組「たけしのスポーツ大将」で親子四人の水泳リレーで優勝と既に芽はでていたのようです。

このお店は今年四月にオープンしたばかり、お客様の友人の勧め

ファーストフードの対極にあるスローフード。美容と健康で注目の地中海の食材が自己主張している店内にお邪魔しました。

ウメハラインターナショナル(株)は、旅行用品と海外土産品の販売や海外渡航支度専門店として、水戸市宮町からスタート。現在地の

友部町に本社を移転してからは、業務用輸入食材卸業にも力を入れている専門店です。食材は産地と農法にもこだわり、イタリアに飛んでその目で確かめるほどです。女性部員の梅原さんにお話を伺うと、自分達家族が食へて安心できるものを、その上、日本人向

最近では、茨城県商工会連合会のインターネット上で、会員間の商取引を支援するためのサイト「いばらきアイビススクエア」にも登録し、さらに楽天市場のショッピングモ

ルにも出店。「オリバーのお店・オリバー・オリバー」と名付けたネット店は、順調なすべり出しをしているようです。日本に馴染みのない食材は、レシピの紹介もしているそうですが、予想していた若い主婦からのアクセスは、意外にも男性からのネット注文が多いとのこと。

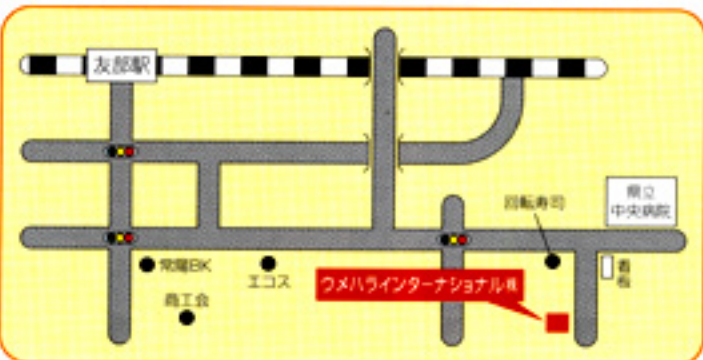
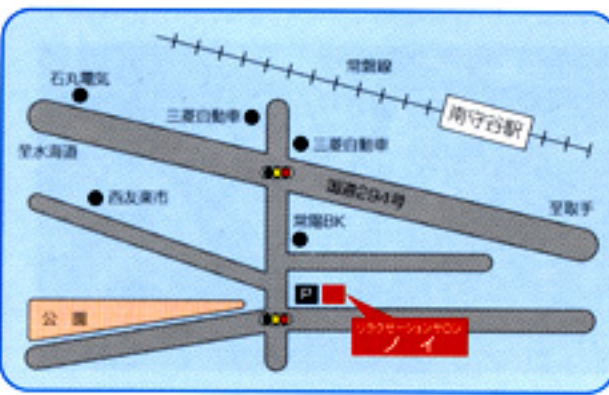
パソコンの向うに家族の笑顔が目につく。今年二月開催の県女性連主催「茨城レデ

オリーブオイルで スローフード



ウメハラインターナショナル株式会社

〒309-1703 西茨城郡友部町鯉淵6526-153
TEL0296-78-3711
<http://www.rakuten.co.jp/oliva>



イスいきいき物産展」では、その味を試していたことができた。出店した梅原さんは、「PRの場を提供していただき感謝です。加えて良かった」と体験できた喜びを語ってくれました。オリブにも、色々な味の違

いがあるのだと感動したことが改めて思いおこされます。食文化が見直されてきている昨今、スローフードに着目した食材の需要が、益々求められて来ているのかもしれないと実感しました。

(古賀 節子 記)

地域に貢献 14人のフラダンサー

金砂郷町



今年三月、七十二年に一度の西金砂神社大

祭礼で活気づいた金砂郷町は常陸秋そばや地酒、納豆等、気候風土に育まれた産物が県内外に根強い人気を保っている。例年十一月に開催される「金砂郷まつり」には女性部、青年部合同で模擬店を運営し、売上げの上でも

大盛況を納め、一般住民を巻き込んだの活動は目を見張るものがある。平成十二年、役員の席上「部員の親睦と健康増進を図るため、フラダンス教室を」との

回、午後七時から八時半まで熱心に練習を重ねている。十四人の「フラダンサー」は、日頃の成果を発表する機会にも恵まれ、毎日二十六日（ふろの日）には「金砂の湯」でダンスと歌を披露、必ず一曲はお客様と一緒に踊り、レイをプレゼントしている。また、老人ホームを訪ねる際には地域に貢献できる喜び



を感じるという。責任感溢れる井坂部長を先頭に、地域と「共動」する金砂郷町商工会女性部の活動に喝采。
(宇佐見 恵子 記)

花と緑の溢れる美しい町へ

常北町



常北町商工会女性部では、花と緑の溢れる美しい町を目指して、環境美化運動

を重点事業のひとつとして活動をしていくところですが、今年の六月には当部員の山崎さんが丹精をこめて栽培した、シャーマニアイリスと花菖蒲が畑一面に咲き、訪れた多くの町民の周で好評を得ました。

この畑は、山崎さんが、町民に少しでも和んでもらおうと、十年以上も環境美化を行ってあります。また、今後ともこの環境美化運動を通して、常



も前から独学で始めたもので、今では老人ホーム「グリーンなかさい」のお年寄りが毎年訪れるなど、わが町の名所の一つになっております。
（横山 まさ江 記）



間もなく10年を迎える売店と受付

新利根町



平成六年にオープンした「ふれあいセンター」で、町からの委託を受けて、入管受付と売店を行っているそうです。この施設は風呂、トレーニングジム、カ

ラオケ等を備えた健康センターです。町内はもろろ近隣の町村からも来館されるそうです。午前九時から午後九時まで十二時間を女性部員が交代で受け持ち、月曜日が休館なので、第三月曜日に翌月の分担当表を作りま

こと。いつまでもお元気でと願わずにはいられないそうです。また、年に一回ですが、老人ホームへの慰問。部員さんからタオルをいただき、それを持ち、室内の清掃。お年寄りとのふれあひも大切にしているそうです。その他、部員の親睦を深めるボーリング大会。町の「よいことまつり」でのじゃがバターの販売は毎年好評で、七十*のじゃがい



もは完売だそうです。ホカホカのあつあつじゃがバター。くいしんぼの私は取材の中で「一番」心を引かれました。
(殿岡 容子 記)

パワー溢れる女性部を 目指して

麻生町

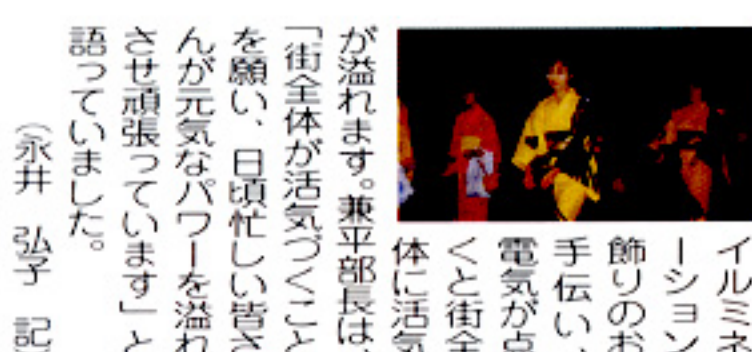


麻生町商工会女性部の部員数は八十人です。

七月二十七日、毎年恒例の馬出し祭りに合わせ、今年で二十年

の霞ヶ浦横断水泳は、応援にも力が入りました。夜は花火大会です。ドカーンと大きな音と同時に広がる美しい華やか「たまや、かぎや」などのセリフが飛び出していました。一瞬にして広い夜空のキヤンパスに描かれる花火は、ただうっとり眺めるばかり。「人生の最後も花火のように行きたいね」とちよっぴ

り苦笑い、楽しい一日でした。今年で四十八回目を迎える産業祭も私達女性部の活躍の場です。チャリティー餅つき等、今年はメニューを増やし、売り上げアップを目標に頑張りたいと張り切っています。また、神奈川県麻生区（あさおく）との交流会や議会傍聴、料理教室、年末にはお正月用の寄せ植え、特に街一帯の



イルミネーション飾りのお手伝い、電気が点くと街全体に活気が溢れます。兼平部長は、「街全体が活気づくことを願い、日頃忙しい皆さんが元氣なパワーを溢れさせ頑張っています」と語っていました。
(永井 弘子 記)

地域に愛される 女性部作り

大和村



大和村商工会女性部は、地場産業の石材業と小玉すいかの産地で知られる静かな農村地帯で、長引く不況のあおりを受けながら、地道に活動をしています。女性部として最大のイベントは、毎年四月に開催される「大和村

の石まつり」です。三日間、商工会前広場で盛大に開催され、土曜日と日曜日は部員が協力して、焼きそばを販売しています。「おいしい焼きそばはいかがですか」のかけ声で、山のようにあつた焼きそばは、すぐに売り切れになるほどの盛況ぶりです。また、今年度は地元にある特別養護老人ホ



ーム「ひだまりの家」の納涼祭にボランティアとして参加させていだきました。今年一番の暑さという日に、玉のような汗をかきながら焼いた焼きそばとお好み焼きを、おじいちゃん、おばあちゃん、家族の方が「おいしいよ」と言っておくれてくれました。私たちに出来ることは何か。高齢化が進んでいく中、ボランティア活動を取り入れて、地域に愛される女性部活動が続けていきたいと思っています。
(梶本 志津枝 記)

つくば音頭 華やかに...

つくば市



「まつりつくば2003」が九月の猛暑の中、二日間、つくばセリター広場を中心に開催されました。そのオープニングとして、つくば市商工会女性部と近隣商工会女性部は、地域婦人会の参加を伴い、総勢二百

人で華やかに、つくば音頭を披露しました。揃いの着物に身をまとい、一糸乱れぬ踊りに、沿道の観客からは拍手喝采を浴び、この時ばかりは感慨ひとしおでした。この振興活動を通して、近隣商工会女性部との交流も、尚一層深めることができました。また、女性部売店では、どら焼きや抹茶・

クレープ等の販売をして、地域住民とのふれあいや部員同志の団結力を高めることができました。
(高野 幸江 記)



【新年度事業のお知らせ】
ピーチーボールバレー大会
・平成十六年六月予定
・四人で一チームです
・是非ご参加下さい。
(つくば市商工会女性部)